

製品名: シスタチン A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab09690

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	11kDa

抗原情報

遺伝子名	CSTA
別名	CSTA; STF1; STFA; Cystatin-A; Cystatin-AS; Stefin-A
遺伝子 ID	1475.0
SwissProt ID	P01040
免疫原	抗血清はヒトステフィン A 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 49-98

背景

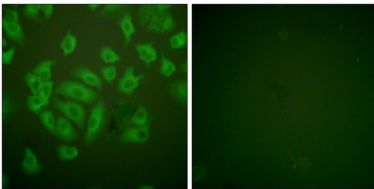
シスタチンスーパーファミリーは、複数のシスタチン様配列を含むタンパク質を包含する。メンバーの中には活性システインプロテアーゼ阻害剤であるものもあれば、阻害活性を失ったもの、あるいはそもそも阻害活性を獲得していないものもある。このスーパー

ファミリーには、タイプ1シスタチン（ステフィン）、タイプ2シスタチン、キノーゲンの3つの阻害ファミリーが存在する。この遺伝子は、システインプロテアーゼ阻害剤として機能するステフィンをコードしており、パパインやカテプシン B、H、L と強固な複合体を形成する。このタンパク質は、ケラチノサイトにおける角化細胞膜の前駆体タンパク質の一つであり、表皮の発達と維持に関与している。ステフィンは、癌の予後予測および診断ツールとして提案されている。[RefSeq 提供、2008年7月]機能：細胞内チオールプロテアーゼ阻害剤である。類似性：シスタチンファミリーに属する。

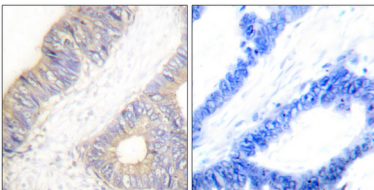
研究分野

-

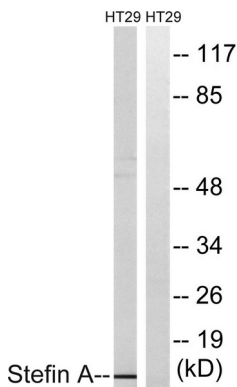
画像データ



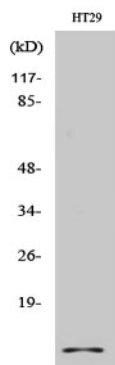
ステフィン A 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



ステフィン A 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



HT29 細胞ライセートの Stefin A 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



シスタチン A ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



シスタチン A ポリクローナル抗体を用いた HT29 細胞のウェスタンブロット解析